



第26回 日本認知症グループホーム全国大会（兵庫大会）に参加しました

全国から関係者が集う大規模大会

12月3日・4日の2日間、神戸国際会議場にて「第26回日本認知症グループホーム全国大会（兵庫大会）」が開催され、ハートケアも参加しました。全国からグループホーム関係者をはじめ、医療・福祉関係者、ご利用者様やご家族様も参加され、認知症ケアの実践や取り組みを共有し、これからのグループホームの在り方を考える全国規模の大会です。大会期間中には、元プロ野球選手の矢野燿大氏をはじめとする多彩な講師による講演が行われ、会場では多くの参加者が熱心に耳を傾けていました。当日は、当施設にご入居されている入居者様のご家族様も来場され、現場の取り組みを直接感じていただく貴重な機会となりました。



裏方として大会運営を支援

大会期間中、ハートケアの施設職員は受付・クローク・会場案内などのイベントスタッフとして多数参加しました。全国から訪れる来場者の皆さまをお迎えし、大会が円滑に進行するよう裏方として支えるとともに、他法人の職員の方々との交流も生まれ、職員にとって貴重な学びと経験の場となりました。



グループ会社「米助」もブース出店

会場内では、ハートケアグループ会社である巻き寿司専門店「米助」がブース出店し、米助巻・海老サラダ巻・特撰巻（たこ）を販売しました。休憩時間や昼食時には多くの来場者でにぎわい、「おいしい」「お土産にしたい」といった声も聞かれ、2日連続で購入してくださる方もいらっしゃいました。



人材育成の取り組みを事例発表

大会では、教育課 郭 英基課長が、技能実習を修了した2名とともに登壇し、ハートケアの人材育成に関する取り組みについて事例発表を行いました。外国人技能実習生と職員との相互理解と信頼関係を築くまでに直面した課題と、その解決に向けた取り組みについて、実習生自身の実体験を交えながら発表しました。



これからも「人」を育てる介護を

文化や言語の違いによる戸惑いを、双方の理解と歩み寄りによって乗り越えてきた過程、そして実習修了後も成長し、今では欠かせない存在となっている姿が紹介されました。ハートケアでは今後も、人材育成に力を入れながら、入居者様に寄り添った質の高いサービスの提供に努めてまいります。

